

平成25年度決算を認定

健全

財政健全化判断比率はすべて

※千円単位は切り捨て

		平成25年度	前年度比
一般会計	歳入 (1年間の収入)	494億2,440万円	0.0%
	歳出 (1年間の支出)	474億9,362万円	1.7%増
特別会計	歳入	273億2,132万円	4.9%増
	歳出	255億9,440万円	3.5%増

(注) 特別会計は14会計の合計額です。

平成25年度決算 監査報告



「いずれも健全財政を堅持」

鶴森 代表監査委員

一般会計について、実質収支額は約17億1,800万円の黒字となっている。歳入は前年度と比べて約16,000万円の増。歳入の根幹である市税については、市民税、軽自動車税、市たばこ税、都市計画税において前年度と比べて増となっている。一方、歳出は、前年度と比べて約7億7,400万円の増となっている。

特別会計については、実質収支額は約12億1,100万円の黒字となっている。収支

益的収支の純利益は、前年度と比べて約21,000万円の増となっている。資本的収支については、約10億6,400万円の不足となっており、損益勘定留保資金や減債積立金などで補てんされている。

水道事業の経営指標でもある有収率は93.9%で、前年度と比較して1ポイント下がったものの、いまだ高い水準を維持している。

審査の結果、一般会計、特別会計及び水道事業会計は、いずれも健全財政が堅持されていることを確認した。

水道事業会計

収益的収入	25億9,100万円
収益的支出	22億6,353万円
資本的収入	3,336万円
資本的支出	10億9,746万円

健全化判断比率

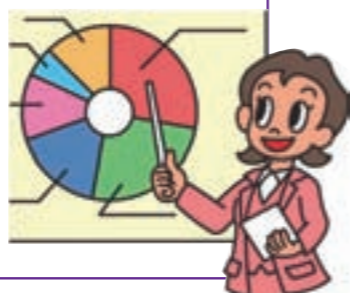
比率名	25年度
実質赤字比率	(11.99)
連結実質赤字比率	(16.99)
実質公債費比率	3.8 (25.0)
将来負担比率	44.7 (350.0)

単位%

(注) ①()は早期健全化基準*を示す。
②赤字額がないため、実質赤字比率と連結実質赤字比率は「-」表示となります。

◆健全化判断比率とは

自治体の財政状況を早期に把握し、破たんを防止するために定められたものです。



を高く評価する。
本案は保育料金の値上げを含むものとなっているが、戸田市の財政状況における予算を許さぬ見通し、現状の受益者負担率との乖離を是正するため約14年振りに見直すものであること、学童保育利用者を対象としたアンケートの結果からは、値上げに一定の理解を得られる見通しが示されていることなども、本案を肯定的に捉える判断材料とした。
少子化対策や子育て世代の負担軽減策がますます求められる折、多子軽減措置の適用を今後具体的に検討されることを期待し、賛成する。

《結果》
原案可決(21対4)

新曽第一土地区画整理事業特別会計
補正予算

スポーツセンター北西側でゲリラ豪雨による

平成25年度一般会計決算
本田哲議員

議員の海外派遣事業は、これまでと同様に



反対

《結果》
原案可決(全会一致)

道路冠水が発生する箇所があり、雨水対策工事を早期に実施する必要があるため、約5千万円を増額するもの。

質疑
Q どれくらい改善が見込まれるか。
A 当該地区は本年6月の集中豪雨により、延長約100メートルにわたり道路冠水が発生した。道路下にボックスカルバートを埋め込む工事により、局地的に冠水することは解消されると考えている。平成27年3月末までに完成予定である。

派遣先も明確な目的も定まっていなかった中で予算要求を行った。姉妹都市・リパブル市との交流は5泊6日のうち1日だけで、本当に姉妹都市交流事業と言えるのか。派遣目的に「中断している中学生海外交流事業の早期再開」を掲げているが、同事業は国際交流協会が責任をもって事業を行っており、税金を使ってしまうことではない。市民が納めた税金を議員が特権的に使ってはならない。

平成25年度戸田市議会の海外友好都市訪問は実質観光旅行であり、公費を支出すべきではないとした住民監査請求が市民団体によって起こされた。

日本共産党戸田市議団は市民団体の指摘を重く受けとめ、本決算認定に反対する。



賛成
榎本守明議員

海外派遣に当たっては、議会の代表として、友好・姉妹都市に議員を派遣することを決めた上で予算要求し、実施している。東日本大震災によって中断しているリパブル市との中学生の海外交流派遣事業の早期再開に向けて話し合うことが、今回の訪問団派遣の大きなテーマとなっていた。平成25年度は中学生がリパブル市に1日訪問しただけに留まったが、26年度はリパブル市を訪問するとともに、リパブル市内のホテルに1泊しており、事業再開に向けて確実に前進している。さらに、中学生を海外に安心して送り出すことができるか、治安や安全性の現況を確認することは、行政をチエックする議会として当然の責務であり、この予算執行は適正なものであると考え賛成する。

《結果》
認定(21対4)

意見書(委員会提出・議員提出議案)を国・政府に提出

◆原子力発電所再稼働に慎重かつ十分な審議を求める意見書
原子力発電所の再稼働の判断に当たり、安全性のさらなる検証を行うことなど、慎重かつ十分な審議を尽くすよう求めるものです。

◆軽度外傷性脳損傷に係る周知及び労災認定基準の改正などを要請し、適切な労災認定に向けた取り組みの推進を求める意見書
軽度外傷性脳損傷について、現状を踏まえて適切な措置を講ずるよう、3項目について要望するものです。

◆「危険ドラッグ(脱法ハーブ)」の根絶に向けた総合的な対策の強化を求める意見書
取り締まり体制の充実や指定薬物の認定手続の簡素化など、危険ドラッグの根絶に向けた総合的な対策の強化を求めるものです。

◆産後ケア体制の支援強化を求める意見書
少子化対策を進めるに当たって「産後ケア対策」は喫緊の課題であり、早急に確立する必要があるとして、出産後の女性の心身をサポートする「妊娠・出産包括支援モデル事業」を着実に実施することなど、3項目の実現を強く求めるものです。

◆(仮称)手話言語法の制定を求める意見書
手話が音声言語と同等な言語であることを広く国民に啓発し、手話を言語として普及研究することができ、環境を整備するための「(仮称)手話言語法」を制定されるよう強く要望するものです。

※早期健全化基準…財政状況が悪化した場合において、自主的・計画的に財政の健全化を図るべき基準として定められた数値です。

※ボックスカルバート……道路下に埋設する断面が箱型の構造物

主な議案

意見書

委員会の審査から

一般質問

委員会視察レポート

主な議案

意見書

委員会の審査から

一般質問

委員会視察レポート